

# つむぎ通信 vol.8

在宅連携センター「つむぎ」

TEL/053-451-2807 FAX/053-451-2808

✉soudan@hamamatsucity-medical-co.jp

在宅連携センターつむぎ浜松

検索

在宅連携センターつむぎは、高齢者を支える医療・介護・福祉関係者の相談窓口として、2016年度に開設しました。「つむぎ通信」は2019年度から在宅連携センターつむぎの周知と情報発信のため発行しています。バックナンバーはホームページからご覧ください。➔



## 令和2年度活動報告

表：相談対応件数（前年度との比較）

年度	令和元年度	令和2年度
実件数	293	312
延件数	1,285	1,397

### ☆ 相談支援の実施状況 ☆

令和2年度の相談件数は、前年度と比較して実件数・延件数ともに増加しました。相談者（所属機関）は<図1>を、相談内容は<図2>をご覧ください。

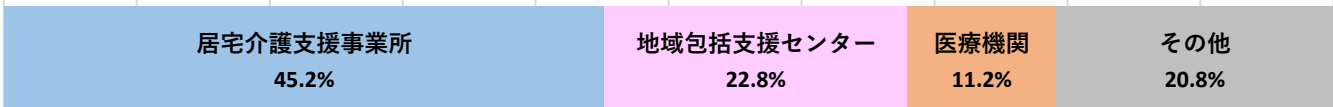


図1：相談者（所属機関）

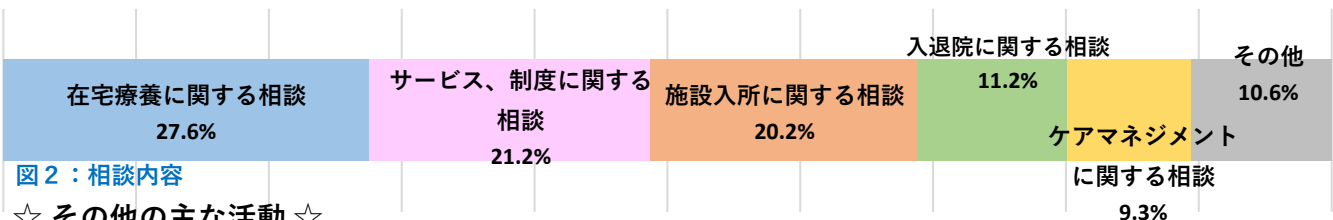


図2：相談内容

### ☆ その他の主な活動 ☆

- ・ 関係機関（居宅介護支援事業所、介護老人保健施設等）へのアンケート調査（6月、2月）
- ・ 在宅医との意見交換会（10月）・地域包括ケア病棟意見交換会（10月、3月）
- ・ 在宅医療・介護連携に関する講義（9月、11月、12月、2月）等々…

昨年度はコロナ過で活動が制限されたなか、皆さまのご理解とご協力の下、活動することができました。皆さま、ありがとうございました。

## 令和3年度つむぎメンバーです

相談員の藤原真理絵が退任し、4月より山口稚佳が着任しました。今年度もよろしくお祈いします。



<後列左から>  
山口（社会福祉士） 高井（事務員） 清水（事務員）  
<前列左から>  
センター長 岩瀬（医師） 水崎（保健師）

### 新メンバー紹介

<名前>

山口 稚佳（ヤマグチ チカ）

<職種>

社会福祉士

<行きたい国>

ベトナムのニャチャン

<最後の晩餐何食べる>

生クリーム

<お勧めパワースポット>

法多山

<コロナが収束したら…>

職場のみんなで たきや漁

<ご挨拶>

急性期・リハビリ病院のMSWとして退院支援に携わってきました。介護保険以外の制度活用などもご相談ください。地域の力になれるように頑張ります！



## 相談事例Q&A～相談内容を紹介します～

**Q1.** 受診拒否の強い人を精神科の受診につなげたい。（ケアマネジャー・地域包括支援センター）

**Q2.** 精神的に不安定な人を精神科へ受診させたい。予約なしで当日受診できる精神科医療機関を知りたい。（地域包括支援センター）

⇒それぞれ 往診可能な精神科医、予約なしで受診可能な医療機関について情報提供した。

※精神科や認知症の症状が悪化し、対応に困ることがあります。つむぎへの相談も多いです。その中でも、かかりつけ医があるとその医師からの言葉は聞き入れたり、かかりつけ医に対応を相談できることがあります。年に1回の健診でもいいので、医師と繋がっていることは大切だと思います。

**Q3.** 人口透析が必要な人が入居可能な施設を知りたい。（地域包括支援センター）

⇒人工透析対応可能な施設の情報について、情報提供した。

※つむぎの相談の中には透析関係も多くあります。透析の原因としては糖尿病性腎症が多いので、透析に至らないように糖尿病のコントロールが大切ですね。しかし、透析になっても、生活を楽しむ視点を持てるように支援していきたいと思います。

**Q4.** 障害者関係の支援・サービスの知識について教えてほしい。

⇒区社会福祉課に架電し、障害者関係の助成制度と手続きについて確認し、情報提供した。

※障害を持つ人が高齢になり、介護保険へ移行されることも多くなっています。障害者関係の制度については、社会福祉士がお答えします。お困りのことがあれば、つむぎにお電話ください。



## つむぎでの3年を振り返って～何気なく使っていませんか？専門用語～



在宅連携センターつむぎが開設され、6年目を迎えました。

私のつむぎ勤務は約3年になります。着任した当初「『サ高住』って何？」と聞いていました。サービス付き高齢者向け住宅のことですね。在宅に関わる専門職にとって当たり前の言葉でも、14年間健診センターに勤務していた私にとっては、耳慣れない言葉でした。

反対に、医療職として使い慣れている言葉が、一般的ではないことも感じます。「ポリファーマシー」「ゾロ」「アドヒアランス」「メタ」「ケモ」「DNAR」「デスカンファレンス」「グリーンケア」…他にもいろいろありますね。つむぎ内でも「ゾロ」は2人が知りませんでした。異職種間での壁をつくらないように、相手が分かる言葉を使うことに注意していきたいと思っています。

今後ちょっとした情報をお伝えしていきたいと思っています。（保健師・水崎 和子）

知っていますか？  
この言葉

ポリファーマシー	害のある多剤服用
ゾロ	ジェネリック医薬品（後発医薬品）
アドヒアランス	患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って自ら行動すること
メタ	がんの転移
ケモ	化学療法
DNAR	終末期医療において心肺停止状態になった時に心肺蘇生措置を行わないこと
デスカンファレンス	亡くなった人のケアの振り返りのカンファレンス
グリーンケア	大切な人を亡くした人の喪失、悲嘆を和らげるケア